



2005 (平成 17) 年 3 月 1 日

各 位

会 社 名 生化学工業株式会社  
代表者名 取締役社長 榎 史朗  
(コード番号 4548 東証第一部)  
問合せ先 取締役経営管理部長  
矢倉 俊紀  
(TEL. 03-3270-0966)

## カルナバイオサイエンス株式会社と化合物導入に係る オプション契約を締結

生化学工業株式会社 (本社: 東京都中央区、社長: 榎 史朗) とカルナバイオサイエンス株式会社 (本社: 兵庫県神戸市、社長: 吉野公一郎) は、カルナバイオサイエンスが保有する医薬品候補化合物の全世界における独占的な開発・製造・販売権を生化学工業が取得することを前提としたオプション契約を 2005 年 2 月 28 日付けで締結しました。

本オプション契約において生化学工業が権利を留保する化合物は、カルナバイオサイエンスが北海道大学と共同 (NEDO\*1 プロジェクト) で創製したアザ糖の誘導体 CB-12181\*2 です。本化合物には、皮膚のケラチノサイトの増殖及び炎症に対して抑制作用を示す効果が考えられ、新規性の高い外用乾癬治療薬としての開発が期待されています。現在、カルナバイオサイエンスにおいて乾癬モデルを用いた薬理試験を実施しており、その結果により、両社は正式なライセンス契約の締結を予定しています。ライセンス契約締結後、生化学工業は、臨床試験の早期開始を目指します。

乾癬は、表皮ケラチノサイトの異常増殖と皮膚の炎症を特徴とする難治性、慢性の皮膚疾患です。調査データによると世界で約 8,000 万人が治療を受けており、特に欧米での罹患率が高く、欧米人口の約 2-3% が罹患していると言われています。

生化学工業では、複合糖質及び関節疾患に重点をおいた効率的な新薬開発を促進するとともに、炎症、免疫、アレルギーを目標疾患とするインライセンス活動を推進し、製品開発品目の早期拡充に積極的に取り組んでいます。

以上

<ご参考>

\*1 NEDO

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (New Energy and Industrial Technology Development Organization) の略称

\*2 CB-12181

1999~2003 年度の NEDO プロジェクト「グリコクラスター制御生体分子合成技術開発」において創製された化合物。マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) 及び腫瘍壊死因子 (TNF-) 変換酵素 (TACE) を阻害するとともに、細胞膜に結合した上皮成長因子 (EGF)

の遊離を阻害すると考えられています。

・マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP):

MMP は、細胞外基質を分解する金属酵素の総称で、生理学的及び病理学的な組織破壊に関与しており、細胞の増殖等にも重要な役割を果たしています。

・腫瘍壊死因子 (TNF- ):

TNF- は、腫瘍部位に出血性壊死を誘導する因子として発見され、生体防御や炎症反応の調節に広く関与するサイトカインの一種です。

・上皮成長因子 (EGF):

EGF は多くの細胞から産生され、細胞膜の EGF 受容体に結合して、上皮細胞のほか広範な細胞の増殖を促します。ケラチノサイトが産生する EGF には、ヘパリン結合 EGF 様成長因子 (HB-EGF) やアンフィレギュリン等が知られています。

【カルナバイオサイエンスの概要】

- |          |   |
|----------|---|
| 1) 商号    | カルナバイオサイエンス株式会社 (Carna Biosciences, Inc.)                 |
| 2) 設立年月日 | 2003 年 (平成 15 年) 4 月 10 日                                 |
| 3) 所在地   | 〒650 - 0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 5 丁目 5 番 2 号<br>神戸国際ビジネスセンター511 |
| 4) 代表者氏名 | 代表取締役 吉野 公一郎  |
| 5) 資本金   | 7 億 3,170 万円  |
| 6) 事業内容  | アッセイ構築、プロファイリング、タンパク質キナーゼ販売、X 線結晶構造解析情報の販売、創薬事業           |

本件に関するお問い合わせは次にお願いたします。

生化学工業株式会社

総務部 IR・広報担当 鳥居美香子 tel.03-3270-0966

カルナバイオサイエンス株式会社

経営企画担当 重田 恭子 tel.078 - 302 - 7039

以上